

# 2006年9月中間期業績および 中期的事業戦略について

---

2006年10月27日

住商情報システム株式会社  
代表取締役社長 阿部康行



**住商情報システム株式会社**

Sumisho Computer Systems Corporation

---

【連結】

(単位:百万円)

	2005年 4月 - 9月期	2006年 4月 - 9月期	増減額	増減率
売上高	46,935	64,188	17,252	36.8%
総利益	7,710	13,693	5,983	77.6%
営業利益	2,115	2,579	463	21.9%
経常利益	2,184	2,709	525	24.0%
当期純利益	1,253	1,337	83	6.6%

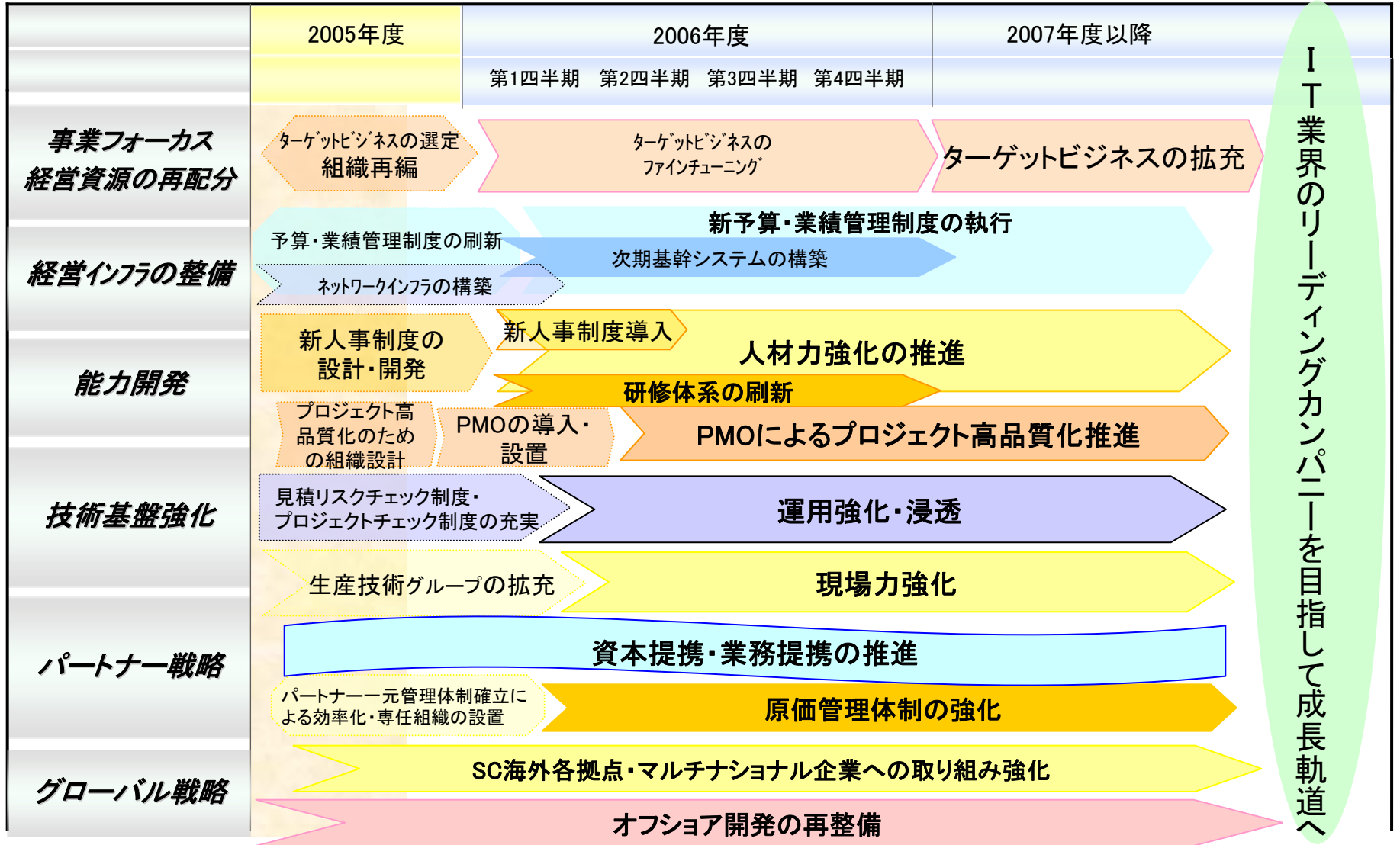
- 金融・情報通信業界向けの売上増加
- 個別案件 収益性の改善
- 不採算案件の減少
- 一部案件の早期実現 / 経費支出下期へのずれ込み

### ➤ ProActive

カスタマイズにおける生産性向上施策の遂行及び  
製品完成度の追求

- ⇔ 保守・開発費用の増加
- ⇔ 案件毎のカスタマイズ費用の増加

# 成長への戦略・スケジュール



IT業界のリーディングカンパニーを目指して成長軌道へ

## プロジェクト品質管理の高度化

PMOの設置

プロジェクトチェック・見積リスクチェックシステムの運用強化

→ 不採算案件減少へ

## 技術基盤の強化

現場力強化推進室の設置等の組織整備

現場力強化のための研修強化

## 原価管理の強化

全社的購買組織の設置

パートナー管理の一元化

## ビジネス強化に向けた体制整備

内部統制ビジネス推進室の設置  
netXDC データセンター増床  
IT基盤ラボラトリーの設置

## グローバルオペレーションの整備

中国現地法人の設置  
－上海 2007年1月(予定)  
－大連 2007年1月(予定)

## グループ内再編

SCS・ITマネジメント株式会社を合併(2006年6月)

## 資本提携・業務提携

エンプレックス株式会社      取得持分      16% (2006年6月)

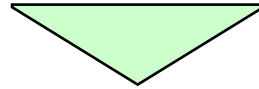
イーバンクシステム株式会社      取得持分      20% (2006年9月)

朝日アイティソリューション株式会社

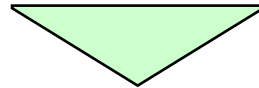
取得持分      100%

(2006年11月予定)

顧客基盤を全ソリューションビジネスにて  
共同利用



ターゲットビジネスの選定に加え、  
当該シナジー追求を目的に組織再編

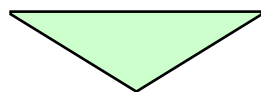


- 基盤構築ビジネスの強化
- ソフトウェア開発とプロダクト・ソリューションビジネスによる総合ソリューションの展開



〔上期〕

製品の完成度を高めるとともに  
カスタマイズにおける生産性向上策実施  
→ 計画比遅れ



今年度中に改善計画を完了し、  
今年度第4四半期または来年度から本格展開

中堅・中小企業向けの  
ERPソリューション市場においてNo.1プレイヤーを目指す。

2007年3月期

売上高	1,400億円
経常利益	71億円
当期純利益	36億円

通期の業績予想につきまして  
現時点では変更の予定はありません

# 中期的事業戰略

## “人のレバレッジから技術のレバレッジへ”

## 既存ソフトウェア受託開発ビジネスの高度化

- ・上流工程への更なるシフト → コンサルテーションも睨んで
- ・徹底した製造工程のプロセス標準化 → 生産性向上・外部委託の効果的活用

## 開発受託ビジネスのサービスビジネスへの転化

- ・保守運用等をパッケージ化した付加価値ビジネスの展開

## ニュービジネス創造型ソフト開発ビジネスの展開

- ・事業パートナーとリスクリターンをシェアするビジネスモデルの推進
  - 住友商事グループにおける新事業総合展開
  - ベンチャーを含む新規事業パートナーの発掘・連携

## “探す営業から創るビジネス・創る営業へ”

## 製品企画機能の追求

- ・ベンダー・ユーザーに対する付加価値の提供

## 個別プロダクトの特性に応じた営業の高度化

- ・直接販売型営業 → 「徹底した顧客密着」へ
- ・間接販売型営業 → 販売網の徹底構築

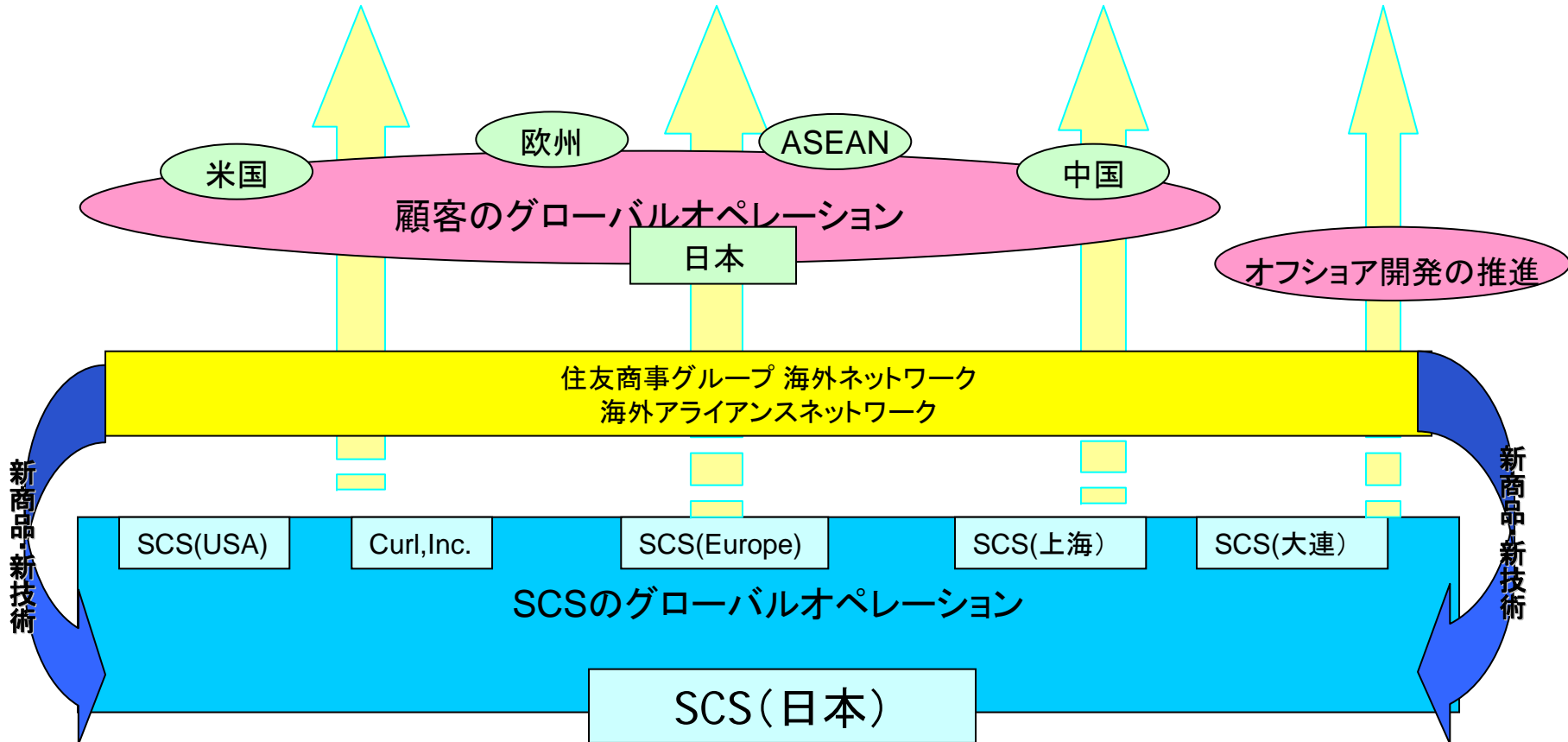
## 新マーケティング手法の開拓

- ・複数のプロダクトの統合によるソリューションビジネス展開
- ・サービス提供型ビジネスへの転換/アウトソーシング事業の拡充

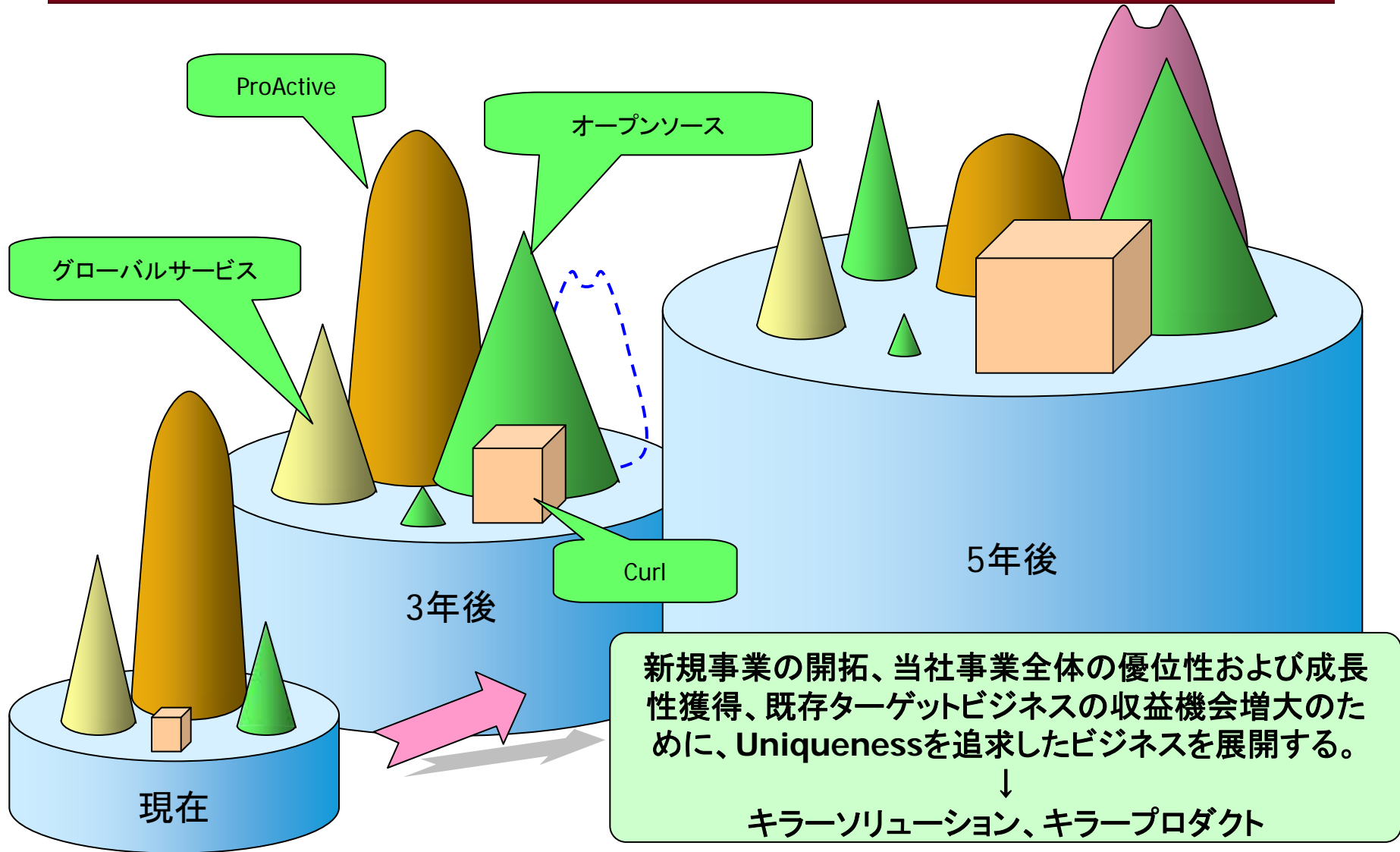
## “de facto 製品・技術” への取組

- ・niche & new の製品・技術に加え、de facto製品・技術をターゲットに

- 標準化されたITサービスのグローバル展開による顧客のグローバルオペレーション支援
- 海外発の商品・技術・サービスのファイナディング機能拡充と日本への還流
- オフショア開発による開発コスト削減 / 海外ローカル顧客との案件推進他

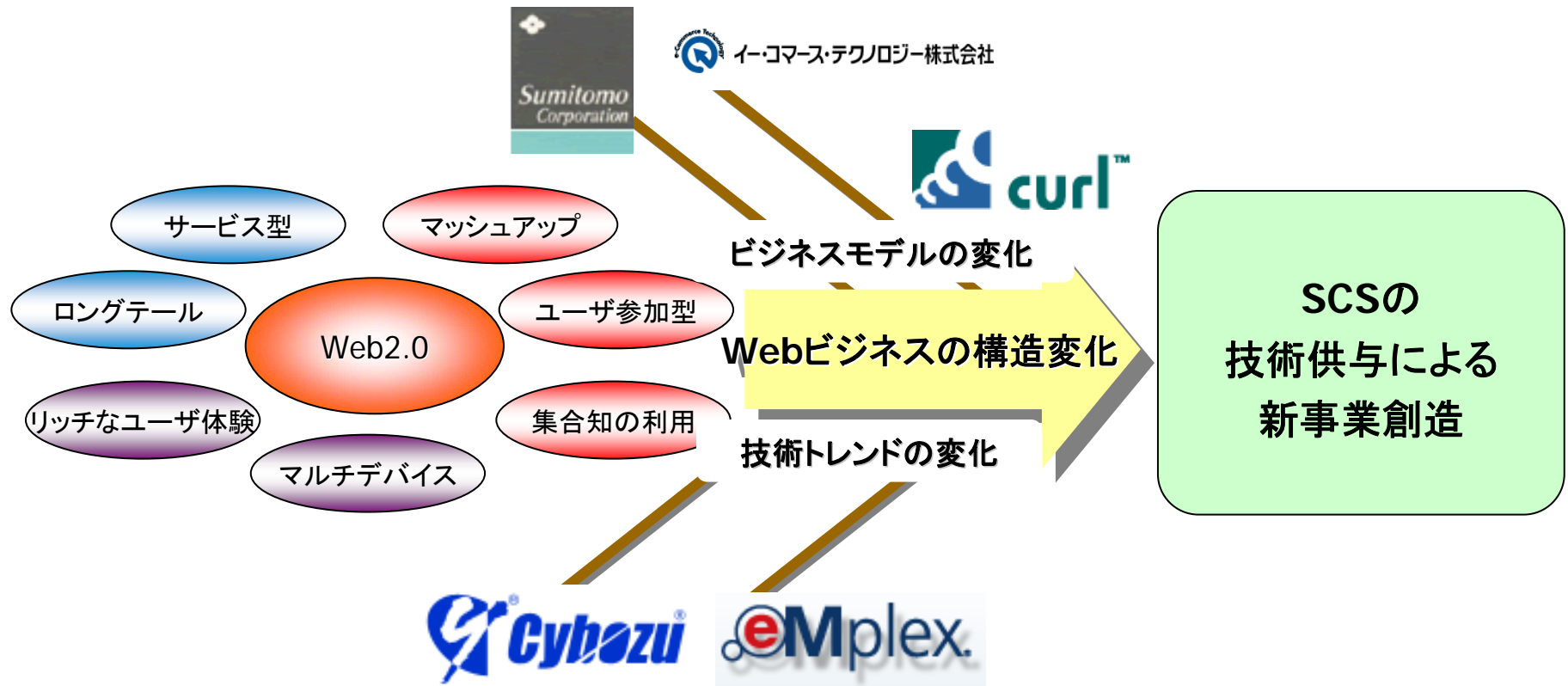


「とんがり」ビジネスの育成



## ■Web2.0時代のバリュープロポジション実現

Webを取り巻く環境の変化を新しいビジネス潮流としてとらえ  
新事業を創造する。





今後とも皆様のご支援ご鞭撻を賜りますよう  
宜しくお願い申し上げます。

# 2006年9月中間期の 連結業績について

---

2006年10月27日

住商情報システム株式会社  
コーポレート部門長 石坂 信彦



**住商情報システム株式会社**

Sumisho Computer Systems Corporation

---

## 2006年9月中間期の連結業績について

- 中間期業績概況(4 - 9月)
- 部門別(旧)売上高比較(〃)
- 部門別(新)売上高(〃)
- 業種別売上高比較(〃)
- 前年同期比差異分析(〃)
- 期初予想比(〃)
- 通期業績予想

本資料に基づく記述・計数のうち、公表数字以外は参考数値となっており、皆様のご参考の為にしてお出しております。

また、予測・見通しについては、現時点で入手可能な情報あるいは予想に基づくもので、今後の経営環境の変化により変動する可能性があります。

## 【連結】前期比

(単位:百万円)

	2005年 4 - 9月		2006年 4 - 9月 ②	増減額 ②-①	増減率 (%)
	SCS	旧SSE(株) 合算ベース ※ ①			
売上高	46,935	60,132	64,188	4,056	6.7%
売上総利益	7,710	10,192	13,693	3,501	34.4%
営業利益	2,115	617	2,579	1,961	317.4%
経常利益	2,184	718	2,709	1,991	277.0%
当期純利益	1,253	246	1,337	1,090	442.6%

内部管理数値をもって、旧SSE(株)合併前業績を合算

【連結】

(単位:百万円)

[売上高]	2005年 4 - 9月		2006年 4 - 9月 (構成比) ②	増減額 ②-①	増減率
	SCS (構成比)	旧SSE(株) 合算ベース ※ (構成比) ①			
ソフトウェア開発	21,160 (45.1%)	21,640 (36.0%)	21,907 (34.1%)	267	1.2%
情報処理	11,847 (25.2%)	16,278 (27.1%)	16,564 (25.8%)	286	1.8%
システム販売	13,927 (29.7%)	22,213 (36.9%)	25,715 (40.1%)	3,502	15.8%
合計	46,935 (100.0%)	60,132 (100.0%)	64,188 (100.0%)	4,056	6.7%
[受注残高] ソフトウェア開発	-	7,613	9,711	2,098	27.6%

内部管理数値をもって、旧SSE(株)合併前業績を合算

【連結】

(単位:百万円)

	業務系 ソリューション	ERP ソリューション	プラットフォーム ソリューション	合計 (構成比)
ソフトウェア開発	16,444	4,318	1,144	21,907 (34.1%)
情報処理	7,994	498	8,071	16,564 (25.8%)
システム販売	8,250	2,388	15,076	25,715 (40.1%)
合計 (構成比)	32,689 (50.9%)	7,205 (11.2%)	24,292 (37.9%)	64,188 (100.0%)



# 業種別売上高比較(4-9月)

【一部参考数値】

【連結】

(単位:百万円)

	2005年 4-9月				2006年 4-9月 ②		増減 ②-①	
	SCS		旧SSE(株)合算ベース※①		金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)				
製造	11,626	24.8	16,338	27.2	15,947	24.8	△391	△2.4
流通	11,827	25.2	12,935	21.5	13,382	20.8	447	3.5
金融	6,275	13.4	6,931	11.5	7,392	11.5	461	6.7
銀行	1,477	3.1	1,581	2.6	2,068	3.2	487	30.8
信販・リース	1,755	3.7	2,211	3.7	1,680	2.6	△531	△24.0
証券	1,577	3.4	1,653	2.7	2,232	3.5	579	35.0
生保・損保	1,465	3.1	1,485	2.5	1,411	2.2	△74	△5.0
通信・運輸	8,755	18.7	10,503	17.5	12,848	20.0	2,345	22.3
電力・ガス	964	2.1	1,162	1.9	1,098	1.7	△64	△5.5
サービス・他	7,486	15.9	12,261	20.4	13,519	21.1	1,258	10.3
合計	46,935	100.0	60,132	100.0	64,188	100.0	4,056	6.7

内部管理数値をもって、旧SSE(株)合併前業績を合算

## - 増収要因 -

(単位：億円)

ソフトウェア開発	銀行・証券業界向け	+ 10
システム販売	通信業界向けハードウェア	+ 32
	住友商事向けハードウェア	+ 5

## - 減収要因 -

ソフトウェア開発	製造業界向け	5
システム販売	金融業界向けハードウェア	4



- 増益要因 -	< + 25 >	(単位：億円)
売上高増加	+ 5	
収益性改善	+ 8	
その他		
・ 不採算案件の減少	+ 4 ( 6 2 )	
・ 在庫整理処分損の減少	+ 3	
・ 合併関連費用の減少	+ 2	
・ その他費用の減少	+ 3	
- 減益要因 -	< 5 >	
ProActive関連	5	
(保守・開発費用の増加、個別採算の悪化)		

## 【連結】期初予想比

(単位:百万円)

	2006年4 - 9月 期初予想	2006年4 - 9月 実績	増減額	増減率(%)
売上高	62,000	64,188	2,188	3.5%
売上総利益	11,000	13,693	2,693	24.5%
営業利益	300	2,579	2,279	759.8%
経常利益	400	2,709	2,309	577.5%
当期純利益	200	1,337	1,137	568.6%

【連結】

(単位:百万円)

	2006年 3月 通期実績		2007年 3月 通期予想 ②	増減 ②-①	増減率
	公表値	IBSSE(株) 合算ベース※ ①			
売上高	120,290	133,486	140,000	6,513	4.9%
営業利益	6,531	5,033	7,000	1,966	39.1%
経常利益	6,716	5,250	7,100	1,849	35.2%
当期純利益	2,722	1,715	3,600	1,884	109.8%

内部管理数値をもって、旧SSE(株)合併前業績を合算

本資料に掲載している情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、現在入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による当社の将来の見通しであり、経済動向、業界での激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社は皆様が本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。